

タタール語文法 ver0.7 2015－3－1

タタール語の参考書は日本語で出版されているものはほとんどない。本書は東京ジャーミィで2014年末に開講されたタタール語初級講座の内容を独自にまとめたものである。この講座はタタール語正書法であるキリル文字ではなく、そのローマ字転写を用いて行われた。本書もそれにのっとりローマ字転写による文法記述を目指した。またまとめる過程でAngelika Landmann *Tatarisch* (Harrassowitz)の内容を加えた。

なお、本書は初学者が最初から順に勉強するというよりは、初級文法をひととおり終えて、その整理のために見るというニュアンスが強い。まだ導入されていない文法事項がないまぜに登場することもある。そこはご了承ください。

第 1 課	母音調和・文タイプと人称一致
第 2 課	名詞と数・主格・対格
第 3 課	名詞と位置格・与格・奪格
第 4 課	名詞と属格・所属人称接辞、複合語
第 5 課	動詞語幹・現在形
第 6 課	動詞 2 つの過去形
第 7 課	動詞未来形・超越形
第 8 課	動名詞とよく使うフレーズ
第 9 課	可能表現・補助動詞ほか
第10課	形容詞と形動詞（1）
第11課	形容詞と形動詞（2）
第12課	副詞と副動詞
第13課	後置詞的表現
第14課	代名詞まとめ
第15課	条件・譲歩
第16課	命令・勧誘ほか関連構文
第17課	派生ほか
第18課	存在文・所有文
第19課	あいさつなど

第1課

母音調和・文タイプと人称一致

/50 点

POINTS

1 母音体系

	前		後	
	非円唇	円唇	非円唇	円唇
高	i	ü		u
中	e	ö	ɪ	o
低	ä		a	

(1) e/ɪ 系列の母音調和

対格・ne/-ni、Dl過去形・de/-dɪ、受身接辞・el/-ıl、形容詞派生接辞・le/-lı など。

(2) ä/a 系列の母音調和

位置格・dä/-da、未来形・açäk/-açak、条件形・sä/-sa、名詞派生接辞・çä/-ça など。

(3) ü/u 系列の母音調和

動名詞・ü/-u、分詞接辞・üçe/-üçü くらい？

2 母音調和の例外：語末子音に[±back]が残っていると考える(対格形で示す)。

(1) 外来語：ロシア語、アラビア語、ペルシア語……

universitet-nı「大学」 tarix-nı「歴史」

3 文タイプと人称一致(暫定的)

(1) 人称一致がタイプ1で任意(=名詞文)

名詞述語文：

形容詞述語文：

(2) 人称一致がタイプ1で義務的(=分詞由来の動詞文)

現在形：Bez tatarça häm yaponça beläbez.

*ただし現在形一人称単数は・men/-mın ではなく・m

GAN過去形：

未来形：

超越形：İrtägä küreşerbez.

(3) 人称位置がタイプ2で義務的(=本来的動詞文？)

Dl過去形：Bez anda avtobus belän bardık.

条件形：Süzlärne añlamasak, süzlektän qararbiz.

タイプ1	SG	PL
1	・men/-mın	・bez/-bız
2	・señ/-sıñ	・sez/-sız
3	-	・lär/-lar

タイプ2	SG	PL
1	・m	・k/-q
2	・ñ	・gez/-ğız
3	-	・lär/-lar

第2課

名詞と数・主格・対格

/50 点

POINTS

1 名詞と数: タタール語の名詞には数の区別がある。

- (1) 複数標識は-lär/-lar と母音調和する。鼻音終わりの語では-när/-nar と鼻音同化する。
- (2) 数詞や数量詞がついた場合、名詞に複数標識はつけない。
- (3) 述部の3人称複数標識として-lar が用いられるが、必ず付くというものではないかも。

2 主格と対格

- (1) 主格はゼロ形で、文の主語のほか、動詞の補部、不特定の目的語などにも用いられる。
- (2) 対格は-ni/nü/nı/nu と母音調和する。主に目的語名詞句が特定である場合に用いられる。
- (3) 名詞句(の指示対象)が特定か不特定かには常に注意を払う必要がある。
- (4) 複合名詞含め、3人称所有人称接辞に後続するときは例外的な形-n をとる。

第3課

名詞と位置格・与格・奪格

/50点

POINTS

1 位置格

- (1) 位置格は・dä/-da または無声子音に同化して・tä/-ta という形態をとる。位置を表す。
- (2)

2 与格

- (1) 与格は・gä/-ğa または無声子音に同化して・kä/-qa という形態をとる。
- (2) 与格をとる動詞(→第13課: 与格支配の後置詞も参照)

3 奪格

- (1) 奪格は・dän/-dan または同化して・tän/-tan/-nän/-nan という形態をとる。
- (2) 奪格をとる動詞(→第13課: 奪格支配の後置詞も参照)

POINTS

1 属格「～の」

(1) 属格は・nen/・nın という形態をとる。

(2) 「～のもの」は・neke/・nıqı という形態をとる。人称代名詞ではやや例外的。

mineke「私のもの」 sineke「君のもの」 anıqı「彼・彼女のもの」 bezneke「私たちのもの」

sezneke「あなた・あなたたちのもの」 alarnıqı「彼ら・彼女らのもの」

Bu dəftər **seznekeme**? Yuq, **mineke** tügel. **Uqıtuçınıqı**.「このノートはあなたのですか。—いいえ、私のではありません。先生のです」

2 所属人称接辞: その名詞句の指示対象を所有するのが誰なのか、あるいは何なのか。

	単数	複数
1人称	・em/・ım/・m	・ebez/・ıbız/・bez/・bız
2人称	・eñ/・ıñ/・ñ	・egez/・ığız/・gez/・ğız
3人称	・e/・ı/・se/・sı	・läre/・ları/・näre/・narı

(1) 異形態は名詞が子音終わりか、母音終わりか、鼻音終わりかによって規則的に現れる。

(2) 所属人称接辞と格の組合せは形態が異なるので注意。

3 複合語

(1) 名詞・属格 名詞・所属人称接辞: これはただの所有関係。

(2) 名詞 名詞・所属人称接辞: これが典型的な複合語。主要部はもちろん後者。

xahq sanı「人口」

POINTS

1 動詞の語幹と不定形

(1) 本書では動詞を語幹で示すが、辞書などには・ü/-u 形動名詞で載せられる。講座で用いられたローマ字転写では、-ü/-u 形動名詞の付加により母音連続が生じる場合・w とも書かれた。

bar- > bar-**u**「行くこと」 kil- > kil-**ü**「来ること」 qayt- > qayt-**u**「帰ること」

kit- > kit-**ü**「行くこと」 bel- > bel-**ü**「知ること」 aša- > aša-**u**/aša-**w**「食べること」

yasa- > yasa-**u**/yasa-**w**「作ること」 çirlä- > çirlä-**ü**/çirlä-**w**「病気になること」

(2) 中母音 e/ı は次のように削除されたりする:

uqı- > uq-**u**「読むこと」 yöre- > yör-**ü**「行くこと、走ること」 biye- > bi-**yü**「踊ること」

(3) 不定形の用法: Yaña maşına **satıp alu** turında uylym.「新車を買うことについて考えている」 Qoyaş **çıǵu** belän tordık.「私は日の出とともに起きた」 Avtobuslar **yörmäw** säbäple lektsiyägä soñğa qaldım.「バスが動かなかったので講義に遅れた」

(4) 所有人称接辞をつけて主語を表現できるが、子音終わりの語につくような特殊なふるまいをするので注意。転写の方針により tanış-**u**-ı-bız-ğa と貫入子音を書かない派がある?

Tanışuwıbızğa şat buldım.「知りあえてうれしいです」 Min sezne **kürüwemä** bik şat.

「あなたに会えてとてもうれしい」 **Çaqıruwıǵız** öçen räxmät.「呼んでくれてありがとう」

Min eştän **qaytuğa**, abıym öydä idä.「私が仕事から帰ると、兄が家にいた」

(5) 目的語として: bel-「知っている」 köt-「待つ」 kür-「見る」 siz-「述べる(?)」 sora-「尋ねる」 üten-「お願いする」; Miña yardım itüyegezne **ütenäm**.「私を助けてください」

2 現在形

(1) 現在形は子音終わりの動詞には・ä/-a、母音終わりの動詞には(理論上)・y という形態でつく。後者の場合とくに・äy > -i(y)、・ay > -ıy という変化が起こる。

bir- > bir-**ä** / bir-**mi**「与える」 köl- > köl-**ä** / köl-**mi**「笑う」 yaz- > yaz-**a** / yaz-**mıy**「書く」

tor- > tor-**a** / tor-**mıy**「立つ」 eşlä- > eşl-**i** / eşlä-**mi**「働く」 aša- > aš-**ıy** / aša-**mıy**「食べる」

biye- > biy-**i**「踊る」 qayı- > qay**ıy**「刺繍する(?)」 töyä- > töy-**i**「供給する(?)」 buya- >

buy**ıy**「描く」

(2) 現在形の用法: 現在の行為、または近い将来行われる行為、習慣など。また歴史的現在。

Bez bazarğa **barabız**.「私たちは(いつも)市場に行く」 Bez irtägä bazarğa **barabız**.「私たちは朝、市場に行く(特定時)」

Min Tuqay uramında **yäşim**.「私はトゥカイ通りに住んでいる」

第 6 課

動詞2つの過去形

/50 点

POINTS

1 DI 過去形 (定過去形)

(1) DI 過去形は・de/-dɪ または無声子音に同化して・te/-tɪ となる。人称は・m/-k 系列。

(2) DI 過去形の用法: 直接体験した・直接知っている過去の出来事を表す。

2 GAN 過去形 (不定過去形)

(1) GAN 過去形は・gän/-ğan または同化して・kän/-qan となる。人称は・min/-miz 系列。

(2) GAN 過去形の用法: 間接的に見聞きしたこと「～したそうだ、～だったそうだ」

(3) 同形で形動詞(→第10課、第11課)にも使われるが、同源か。

POINTS

1 未来形

(1) 未来形は-äçäk/-açaq または母音連続を嫌って-yäçäk/-yaçaq という形態をとる。

(2) 未来形の用法: 未来の予定された出来事を表す。

Uqunı tämanlağaç, tärcemäçe bulıp **eşläyäçäkmen**.「勉強を終えたら、私は翻訳家として働く」
Sin xäzer ni **eşläyäçäksen?**「今から何をする予定ですか」
Sez bügen eşkä **barmayaçaqsızımı?**「あなたは今日仕事に行きますか・行かねばなりませんか・行く予定ですか」

2 超越形(個人的には中立形という名称を推したいが)

(1) 超越形は、母音終わりの語幹には-r とつく。例外はない。

eşlä-**r**「行く、仕事をする」

(2) 複音節で子音終わりの語幹には-er/-ır とつく。例外はない。

öyrän-**er**「学ぶ」

(3) 単音節で子音終わりの語幹には-är/-ar とつく。ただし-l/-r 終わりの語幹には-er/-ır とつく。

eç-**är**「飲む」

例外は äyt-**er**「話す」 qayt-**ar**/qayt-**ır**「帰る」 köl-**är**「笑う」 bül-**är**「分ける」 tül-**ır**/tül-**ar**「完全になる?」など。

(4) 1人称の否定形は-mas-mım/-mas-bız ではなく特別に-mam/-mabız という形態をとる。

(5) 超越形の用法: 起きるか分からない、確定していない未来＝意志、推測などのモダリティ。

Bälki irtägä koyaşlı kön **bulır**.「たぶん明日は晴れた日になるだろう」
Bälki **bulır**, belki **bulmas**.「ありえるかもしれないし、そうではないかもしれない」
Min ikmäk satın alırğa **onıtmam**.「私はパンを買うのを忘れない」

POINTS

1 IŞ 動名詞

- (1) 一般的な動名詞「～すること」。

2 IR 動名詞: 超越形はそのまま動名詞にもなる。

- (1) 後置詞的表現: başlanır **aldınnan**「始まる前に」 cırçı bulır **öçen**「歌手になるために」

- (2) 与格形-ırğa/-ergä「～するために」は目的・目標を表すためによく用いられる。

su koen**ırğa** baru「泳ぎに行く」 yoklar**ğā** yatu「寝る(眠るために横になる)」 şäxärgä bar**ırğa** wakıt citmi「町へ行くには時間が足りない」 Sen bezgä kaya bar**ırğa** kiñäş birer idegez?「私たちにどこに行けば良いかアドバイスしてくれませんか」

- (3) とくに次のフレーズは重要である。

Sezgä ber sorau bir**ergä mömkinme**?「質問してもよいですか」

-ergä bulamı?「～していいですか」

Törki tellär öyrän**ergä telim**.「私はトルコ系言語が勉強したい」

Sport belän şöğllän**ergä kiräk**.「スポーツをする必要がある」

* kiräk は省略可能。Nişlär**gä**?「何をすれば？」

-ergä toreş.「」

Här keşe üzeneñ sälämätlegen saqlar**ğā tiyeş**.「だれでも自分の健康を保つべきである」

Min soñğa kal**masqa tırışam**.「以後遅刻しないようにします」

- (4) たとえば次の動詞は特に与格形-ırğa/-ergä をとる。

-ergä kurk-「～するのが怖い・を怖がる」 -ergä onıt-「～するのを忘れる」 -ergä öyrän-

「～することを学ぶ」 -ergä uyla-「～しようと思う」 -ergä yarat-「～するのが好きだ」

- (5) 「～するか(どうか)」といった間接疑問文を作ることができる。

Nişlär**gä** belmim.「何をすればよいか分からない」 Universitetnı tämamlağaç, kaya bar**ırğa** uylıysıñ?「大学を卒業した時、どこに行くか考えているかい」

3 MA 動名詞: トルコ語ではよく用いられるが、タタール語ではあまり見かけない。

第9課

可能表現・補助動詞ほか

/50点

POINTS

1 可能表現

- (1) -ä/a/e/i 副動詞 + al-「得る」。広く使える。

Min tatarça añlıym, läkin irken söylä**ä almıym**.「タタール語は分かるが速く喋れない」

- (2) -ä/a/e/i 副動詞 + bel-「知る」：習得した能力を言う。能力可能のみか。

Sin gitara uynıy belä**sezme?**「ギターを弾けるかい」 Maşına yörtä belä**sezme?**「車運転できるかい」

2 よく使う(かもしれない)補助動詞、複合表現

- (1) -ä/a/e/i 副動詞 + bar-「行く」：「徐々に～していく」という相。

Hava üzgärä **bara**.「天気が変わりつつある」* üzgär-「変化する」

- (2) -ä/a/e/i 副動詞 + başla-「始まる、始める」：「～し始める」という起動相。

Min tatar telen öyränä **başladım**.「私はタタール語を勉強し始めた」

- (3)

(うまくまとまっていない)

第 10 課 形容詞と形動詞(1)

/50 点

POINTS

1 形容詞: とくに名詞に合わせて曲用したりしない。

(1)

(2) 量化詞

(3) 副詞として用いることもできる。

(4) 名詞として用いることもできる。英語の the young みたいに。

(5) -le/-lı による形容詞派生: 「～のある・～を持つ」。⇔ -sez/-sız 「～のない」

2 比較

(1) 比較級は -rāk/-raq で、最上級は iñ... を用いる。比較対象は奪格で表す。ただし、比較級は「より～」というか、単に強調「とても～」で使われていることもあるっぽい。

küp 「多い」 kübrāk 「より多い」 iñ küp 「最も多い」

naçar 「悪い」 naçarraq 「より悪い」 iñ naçar 「最も悪い」

Tağın da kübrāk beläsem kilä. 「もっとたくさん知りたい」 Yaxşı süz baldan tath. 「良い言葉はハチミツより甘い」 * 比較対象があれば比較級 -raq は任意。

(2) 単純な強調には bik 「とても」

Yaponiyada beysbol **bik** popülär. 「日本では野球がとても人気です」

第 11 課	形容詞と形動詞(2)	/50 点
POINTS 1 形動詞: 形動詞なんてあるのか? (1) GAN 形動詞: 関係節を作る。経験用法も大事。 Äytkänegez döres bulıp çıktı.「あなたたちの言ったことが正しいとわかった」 Tatar awıllarında bulğanım bar.「タタールの村にいたことがある」(→第17課) (2) コピュラと複合し ikän という形になる。 2 量 (1)		

(改組予定地)

第 12 課 副詞と副動詞

/50 点

POINTS

1 副詞

- (1) 時間: xäzer「今」 öçençe kön「一昨日」 kiçä「昨日」 bügen「今日」 irtägä「明日」 berseköngä「明後日」
- (2) 場所: uñda「右で」 sulda「左で」 eçtä「中で」 tışta「外で」 yuğarıda「上で」 түбәндә「下で」 alda「前で」 artta「後ろで」
- (3) 頻度など: härvakıt「いつも」 ğadättä「いつも」 siräk「たまに、ほとんど…しない」 gel「絶えず」 yakında「すぐに」 irtä「速く」 soñ「遅く」
- Qunaqlarnı **siräk** çağırabız.「私たちはお客をほとんど呼びません」
- (4) モダリティ: älbättä「もちろん」 şulay, alay「そう(?)」 qızğanıçqa qarşı「残念ながら」 bälki「たぶん、おそらく」 paxätlänep, şatlanıp「喜んで」 buşqa「無駄に(?)」

2 アスペクト副詞 inde äle hänüz

- (1) まだ(有→有)
- (2) まだ…ない(無→無)
- (3) もう(無→有)
- (4) もう…ない(有→無)

POINTS

1 主格支配

genä/ğına/kenä/qına「～だけ」 turında「～について」 belän「～で、～と、～と一緒に」
öçen「～のために、～なので」 sayın「～ごとに」 kebek/şikelle/sıman/tösle「～のように」
aşa/arqılı「～を通じて、～経由で」

Bu kitap tatar tarixı **turında**.「この本はタタールの歴史について(の本)だ」 Min monda poyezd **belän** kildem.「私はここに電車で来た」 Bu räsemle süzlek balalar **öçen**.「このイラスト入り辞書は子供向けだ」 Min kön **sayın** kitap uqıym.「私は毎日本を読む」 Tatarstanğa İstambul **arqılı** qaytam.「タタールスタンにイスタンブル経由で帰っている」 Balalar uram **aşa** uzalar.「子供たちは道路を通して渡る」 Ul tatarça Tatarlar **kebek** söyläşä.「彼はタタール人のようにタタール語を喋る」 Bäbi **şikelle** yılama!「赤ちゃんみたいに泣くな」 Ul yeget artist **sıman**.「あの若者は芸術家みたいだ」 Sin dä minem **tösle** şayartuçan.「君も私みたいに冗談が好きなんだね」

2 与格支配

-ğa qadär/xätle/çaqlı「(時間・場所)まで」 -ğa qarağanda「～に比べて」(→比較級) -ğa qaramastan「～にも関わらず」 -ğa qarşı「～に対し」 -ğa kürä「～によって、～に応じて」
-ğa taba「～の方に」

yäxşämbe(**gä**) **qadär**「日曜日まで」 * 与格は任意らしい? Qazan Älmätkä **qarağanda** zurraq.「カザンはエルメトに比べて大きい」 Davılğa **qaramastan** teploxod belän kildek.「嵐だったが船で来た」 Sezda Anginağa **qarşı** daru barmı?「あなたはアングナに対する薬を持っているか」 Min sezne sağındım, **şuña kürä** kildem.「私はあなたにあこがれて、それで来た」 Maşına voqzalğa **taba** borıldı.「車が駅の方向に曲がった」

3 奪格支配

-dan soñ「～のあとに」 -dan birle「～から・～のあいだ」 -dan başqa「～の他に」 -dan alıp/başlap「(時間)から」 -dan artıq「～以上の」 -dan elek/alda「～のあとに」

Därestän **soñ** öygä qaytam.「授業の後は家に帰る」 Kiçädän **birle** tamaq töbem awırta.「昨日から喉が痛い」 Dürt aydan **birle** tatarça öyränäm.「4か月のあいだタタール語を勉強している」 Minnän **başqa** kem belä?「彼は私の他に誰を知っているんだ」 May ayınнан **alıp** Avğust ayına **kadär** Tatarstanda buldıq.「5月から8月までタタールスタンにいた」 Qazanda millionnan **artıq** keşe yäşi.「カザンには100万人以上住んでいる」 Min sezdan **elek** tordım.「私はあなたより後に起きた」

第 14 課 代名詞まとめ

/50 点

POINTS

1 人称代名詞・ダイクシス表現

	主格	対格	位置格	与格	奪格	属格
1sg	min	mine	mindä	miña	minnän	minem
2sg	sin	sine	sindä	siña	sinnän	sineñ
3sg	ul	anı	anda	aa	annan	anıñ
1pl	bez	bezne	bezdä	bezgä	bezdän	bezneñ
2pl	sez	sezne	sezdä	sezgä	sezdän	sezneñ
3pl	alar	alarmı	alarda	alarğa	alardan	alarmıñ

(1) 3人称代名詞は指示代名詞と同形。(2) 2人称複数丁寧な2人称「あなた・あなたたち」としても用いられる。(3) タタール語においては名詞はそのまま場所として扱われる: Minem kitabım sindäme?「私の本は君のところに(×君に)ありますか」

2 指示代名詞・ダイクシス表現: 同形で形容詞としても用いられる。

	主格	対格	位置格	与格	属格	...
これ(すぐ近く)	bu	monı	monda	moña	moniñ	...
これ(近く・既出)	şuşı	şuşını	şuşında	şuşıña	şuşınıñ	...
あれ(遠く)	tege	tegene	tegendä	tegeña	tegeneñ	...
それ(遠く・既出)	şul	şunı	şunda	şuña	şunıñ	...
それ・あれ(遠く・一般)	ul	anı	anda	aña	anıñ	...

(1) **änä**「ほら、それ」 **menä**「ほら、これ」は注意喚起(Demonstrativpronomina)で、änä tege や menä bu のように複合できる: Menä, Mansur kilä.「ほら、マンスルが来たよ」 Änä, minem avtobusım kilä.「ほら、バスが来たよ」 Menä bu kitap kemneke?「この本誰の?」

(2) 副詞形: şundıy「そのように、そういう」 mondıy「このように、こういう」 andıy「あのように、ああいう」……

(3) 修飾用法と区別する際にはダッシュを入れるらしい: Bu – abıym.「こちら私の兄です」

3 疑問代名詞・疑問副詞

kem「誰」 qaya「どこに」 qaydan「どこから」 qayda「どこで」 qayçan「いつ」
närsä「何(名詞)」 nindi「どのような(形容詞)」 niçäk「どのように(副詞)」

4 不定代名詞: 疑問代名詞からの派生。

(1) ber-系列: berkem dä「一人も」 bernärsä dä(=berni)「一つも」……

Sıynıfta **berkem dä** qıtayça söyläşmi.「クラスでは一人も中国語を話せない」 Ul anıñ turında **bernärsä dä** belmi.「彼はそれについて一つも知らない」 Bu sorawğa **berniçäk**

tä cawap **birä** al**madıq**.「この質問に全く答えられなかった」

(2) **hiç**-系列: **hiçkim**「誰も」 **hiçnärsä**「何も」……

Därestä uquçı aña **hiçnindi** soraw birmäde.「授業では生徒は彼に一つも質問しなかった」
Kiçä bez **hiçqaya** barmadıq.「昨日私たちはどこにも行かなかった」
Dustum **hiçqayçan** çit ildä bulmadı.「私の友人は一度も外国に行ったことがない」

(3) -der 系列: **kemder**「誰か」 **närsäder**「何か」……

Kitabımnı **kemder** alğan.「私の本を誰かがとった」
Bez bu keşe belän **qayçandır** ber uramda yaşägänbez ikän.「私たちはこの人と、いつか同じ街に住んでいたそうだ」

(4) **ällä** 系列: **ällä kem**「誰か」 **ällä närsä**「何か」…… ***ällä**「または」

(5) **ken dä bulsa**「誰でも」 **närsä dä bulsa**「何でも」 **qayçan da bulsa**「いつでも」……

5 その他表現

(1) 人称

POINTS

1 条件の接尾辞

(1) 条件は動詞語幹に-sä/-sa をつける。名詞・形容詞述語では bul-をはさみ bul-sa とする。帰結節は超越形も現在形も用いられる。条件表現はほとんどこれで、用法が広い。

kil->kil-**sä**「来れば」kil-mä-**sä**「来なければ」

Sin **kilsän**, bez kinoga barırbız.「君が来るなら、私たちは映画に行く」 Kön **salqın bulsa**, min kibetkə barmam.「寒ければ私は店に行かない」 İkmäk kibetenä **kersäñ**, öçpoçmaq belän kruvassan al äle.「パン屋に入るなら、三角パイとクロワッサンを買ってきて」

(2) 非現実の仮定(いわゆる反実仮想)を明示するには過去 idä を用いる。

Sez urmanğa **barsağız**, min dä sezneñ belän **barır idäm**.「君たちが森に行く**んだ**ったら、私も一緒に行ったのに」

(3) 条件形+小詞 da で「……であったが・であっても」を表す(逆接・譲歩)。

Şaxmat uynarğa öyränergä ciñel **bulsa da**, yaxşı uynarğa öyränüe bik qıyın.「チェスをプレーできるようになるのが簡単だとしても、うまくプレーできるようになるのは難しい」 Qoyaşlı kön **bulsa da**, urmanğa barmadık.「晴れた日**だ**ったが、私たちは森に行かなかった」

(4) これまでの例からも分かる通り、条件形は単純に因果関係を表すような、条件とは離れた用法も持っている。ちょうど日本語の「～すると」のような。

Täräzägä kağıla. Kem bu ikän **disäm**, cil ikän.「窓が叩かれた。誰ですかと問うと、それは風であった」 Min öydän **çıksam**, taksi kilgän ikän.「私が家から出ると、タクシーが来ていた」

(5) Qunaklarıbız bügen **kilsä kiräk**.「私たちのお客が今日来るはずだ」

(6) 条件形の言いさしで提案・丁寧な要求を表す: Täräzäne **açağız**...「窓を開けて頂ければ(ありがたいのですが)」この用法の下地には「～するとよい」のような評価的な形容詞とともに用いる用法があるのではないかと思う。

第16課

命令・勧誘ほか関連構文

/50 点

POINTS

1 命令形

- (1) 動詞語幹をそのまま使うと2人称単数、-(e)gez/-⁽ⁱ⁾ğız を付けると2人称複数。
- (2) 3人称命令形「～させろ・～してほしい・～するように(=祈願)」が存在する。3人称単数は語幹に-sen/-sin を、3人称複数は語幹に-sennär/-sinnar をつける。

2 勧誘

- (1)

3 意志-makça

- (1)

4 ～したい-ası kilä

- (1)

(練り不足)

第17課

派生ほか

/50 点

POINTS

1 動詞→動詞派生

(1) 受身: 子音終わりに・el/・il、母音終わりに・l でつく。ただし l 終わりには・en/・ın でつき、
・la/・lä 形語幹の受身形は・lan/・län となる。

aç- > aç-**ıl**-「開かれる」 yap- > yab-**ıl**-「閉じられる」

uqı- > uqı-**l**-「読まれる」 yasa- > yasa-**l**-「作られる」

al- > al-**ın**-「取られる」 bel- > bel-**en**-「知られる」

başla- > başla-**n**-「始められる」 äzerlä- > äzerlä-**n**-「準備される」

Qazan universitetı 1804-nçe yılda **açılğan**.「カザン大学は1804年に設立された」 Tokyo
mäçete 1938-nçe yılda **tözelgän**.「東京モスクは1938年に設立された」

2 →名詞派生

(1)

3 日

(1)

(練り不足)

第18課	存在文・所有文	/50 点
POINTS 1 存在文 (1) 2 所有文 (1)		

(未執筆)

POINTS

1 あいさつ

İsänmesez.「こんにちは」 İsänme.「こんにちは(親しい間)」 Säläm.「やあ、どうも」
Xäyerle irtä.「おはようございます」 Xäyerle kön.「こんにちは」 Xäyerle kiç.「こんばんは」
Tanış bulıyq.「はじめまして」 Tanışuwıbızğa şat buldım.「お会いできて光栄です」
Xälläregez niçek?「お元気ですか」—Yaxşı/Äybät/Şap/Yarıysı.「元気です」 Naçar.「よくないです」 Yaxşı tügel./ Äybät tügel.「よくないです」
Räxmät./ İsän bul/bulğız.「ありがとう」 Sezgä dä zur räxmät.「あなたに感謝します」
Ğafu itegez./ Ğafu ütenäm.「申し訳ございません」 Ğafu it.「すみません、ごめんなさい」
Saw bulğız./ İsän bulğız.「さようなら」 Saw bul./ İsän bul.「さようなら(親しい間)」
Xuş kildegez.「ようこそ」

2 あいさつ(逆引き)

Räxmät「感謝」は「ありがとう」

İsän「安全な」で İsänmesez.「安全か」 İsän bul.「安全であれ」>「ありがとう・さようなら」

Saw「健康」